

定です。今年中にはまた出版の話が出るよう頑張ってみます。

## 見えない仕事

自分たちにとっては当たり前のことですが、歯科は見えないところでの作業が多いのです。歯を削ったり、歯の神経の処置だったり、歯ぐきの中にいった歯石を除去することだったり。歯医者になりたての頃は苦労したものです。

歯を削る時、全部の面が見えていくわけではありません。表面は見えても裏面は死角になります。ですからミラーを入れて見るのですが、削っている最中は水を



出しているのでミラー像はほとんど見えません。削りながら確認しているのです。

もっと大変なのは歯の神経の処置。歯の中に神経が通る細い管状の空間があり、その神経を取ったり、周囲をきれいにしたりする作業です。僕たちが針状のものを持って作業している姿を見たことがあると思います。あくまでも見えているのはトンネルの入り口のみ。そこから根の先端まで針を入れていくのですが、頼りは指先の感覚だけです。トンネルもまっすぐなものだけでなく、カーブしていたり詰まっていたりして、すんなりいかない方が多いのです。もちろんレントゲンで確認をしたり、先端に近づくとブザーで教えてくれる計器はあるのですが、先端に到達するまで何も見えていません。

こういう作業をするたびに、「ミク口の決死圏」の映画を思い出す昭和の歯医者には他にもいるはず。わっかるかなあ😊

## 噛む回数

ランチとしてメインに使っている早稲田通りの中華料理屋さん。野菜もたっぷり取れておいしいお店です。このお店の一つの特徴は、野菜類の大きいです。カットが大きく、初めて見た時は「デカット！」と思いました。カットが大きいと噛む回数が増えます。特に根菜などが大きいのでなおさらです。これはもう歯医者さんおススメ。調理1つでこんなに変わるとは驚きです。ご家庭でもお試しあれ。